

つむGO！六郷！未来につ なぐプロジェクト

東北学院大学 菅原真枝ゼミ

菅澤ことね
庄司アリア

佐々木彩花
加藤誉

大宮一起
飯渕菖

小西優依

瀧浦理貴
中島幸

目次

団体紹介

活動目的

1年間の取り組み

1. 参加したイベント
2. ヒアリング調査
3. ワークショップの開催

活動全体の成果

今後の課題

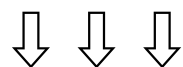
東北学院大学菅原真枝ゼミ

○地域総合学部地域コミュニティ学科の3年生9人で構成

○今年度から活動を開始し、
六郷地区を中心に、聞き取り調査、イベント参加、
まちづくりワークショップを実施

六郷地区について

六郷地区は**高齢化**や**地域活動人材の不足**、**世代間交流の希薄化**という課題がみられる



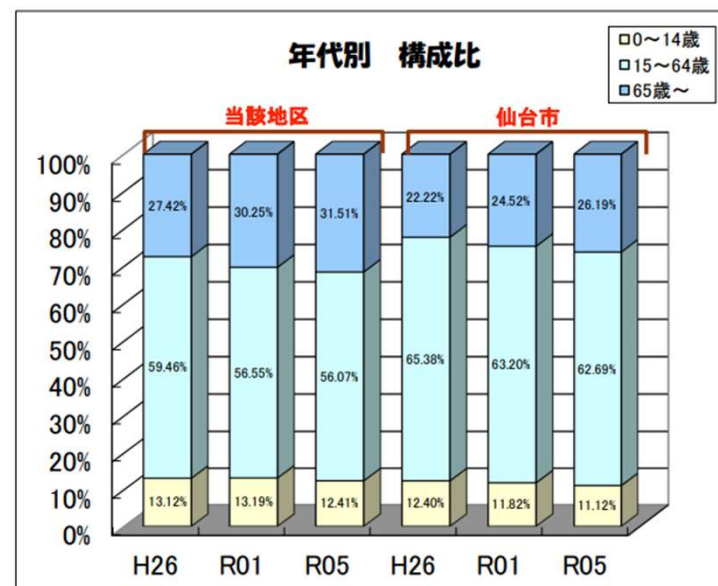
新たな繋がりや文化創造、地域活性化の
土台作りから行いたい

⇒ **六郷地区**

65歳以上人口及び高齢化率

| | 六郷学区 | 若林区 | 仙台市 |
|-----------|--------|--------|---------|
| 65歳以上人口 | 4,072 | 31,643 | 275,530 |
| うち75歳以上人口 | 2,269 | 16,256 | 150,147 |
| 高齢化率 | 31.51% | 22.98% | 26.19% |

出典：仙台市「六郷小学校区65歳以上人口及び高齢化率」令和5年9月



出典：仙台市「六郷小学校区年代別構成比」（令和5年9月）

活動目的

- ・ 六郷地区の魅力を発見、再認識する
- ・ 住民同士の繋がりを強化、補完する
- ・ 多様な住民が関わる「新しい地域の形」をつくる

市民センター訪問

5月16日（六郷市民センター）

佐々木館長のお話

①地理的に人が来にくい地域、支援や人員が足りてない

②70代や80代が多く、

これからの世代に今後どのようにつなげていくか

③働く世代とシニア世代をつなげることが課題

④世代間交流が少ない

1年間の取り組み

| 月 | 内容 |
|--------|--|
| 5月 | 六郷市民センター訪問 |
| 7月 | わたしのふるさとプロジェクトヒアリング調査 六郷東部夏祭りへの参加 |
| 8月～10月 | 各団体・個人へヒアリング調査（町内会長、学生、だがしやきち、若林元気隊、ライフの学校、海岸公園冒険広場） |
| 11月 | 地域イベントへの参加 （井土プチマルシェ、市民まつり、子育てサロン） |
| 12月～1月 | 調査結果の分析→イベント企画、協力依頼 イベント実施 |
| 2月 | 成果のまとめと課題整理 成果報告（市民センター懇談会） |

1. 参加したイベント

| 日付 | イベント名 | 場所 | 参加学生数 |
|---------------------|--------------------------|---------------------|----------|
| 7月26日(土) | わたしのふるさとプロジェクト 東部夏まつり | 東六郷コミュニティ 広場 | 7人 |
| 11月21日(金) | 子育て支援サロン | 六郷市民センター | 2人 |
| 11月1日(土) 1月6日(火) | わかプレ | 若林区文化センター 内わかぽーと | 1人 3人 |
| 11月8日(土) | 井土プチマルシェ | 井土浜パーゴラ | 3人 |
| 11月9日(日) | 六郷市民まつり | 六郷市民センター | 8人 |

2.ヒアリング調査



調査①町内会長



分かったこと

- ・各町内会によって**抱える課題が異なる**

例) コロナ禍以降行事への参加者数、地域住民同士の**親密度低下**
デジタル化への対応の苦勞、住民の**関心の偏り** (会費や施設利用)

地域への期待

- ・各町内会が地域へ期待することは**共通点**が見られた
- 例) 交通や生活環境などの**暮らしの基盤を守る**こと
若い世代を含めた住民参加の促進

調査②六郷地区に住む中高生

分かったこと

- ・ 回覧板を目にする機会が少なく、町内会でどんな活動をしているのかといった、情報は行き届いていない
- ・ 部活動があると時間帯が合わず、地域の行事に出られない
- ・ 六郷に住む学生も地域の行事やイベントに参加したい

学生の要望

- ・ 部活終わりに行けるような時間帯に開催するお祭りやイベント

調査③だがしやきち

- ・ 活動目的：子供たちの居場所づくり
- ・ 活動内容：月・金曜日に駄菓子屋の運営、中学校の訪問、イベントへの出店
- ・ 中学生と「**顔なじみ**」なるために昼休みに中学校へ
- ・ **地域への要望**
子どもたちが体を動かせる場所・機会が少ない

調査④若林元気隊

- 活動内容：イベント協力、紙芝居制作、SNS発信など
- 活動目的：地域の元気づけ
- 活動における課題：住民への見守り活動の減少
- **六郷の魅力**
お祭りなどの行事で、地域の人達が交流した際の**温かい雰囲気**
→そうした人の繋がりが今後も続いてほしい

調査⑤ 海岸公園冒険広場(六郷東部、井土)

- 2005年開園
→ 地域の人が公園で地域交流
- 2011年3月**東日本大震災**により長期休園
- 2018年7月再開
→ 震災後は地域に出て行って様々なところであそび場を行い交流
- **地域の魅力 = 遊びを自由に「そうぞう」出来ること**
- **地域への期待**
普段から子どもたちの声、生活音が聞こえる**賑わう空間**
住んでいる人も住んでいない人も**気づいていない魅力**を見つける

調査⑥

社会福祉法人ライフの学校六郷キャンパス(今泉)

- 2024年に開設
⇒特別養護老人ホーム・共生型看護多機能型・事業所内保育
- **高齢化率の高さ、特別養護老人ホームの少なさ** → 六郷地区を選ぶ

- 地域の魅力 → **地元愛が強い**
- 地域の課題 → **世代間交流が生まれにくい**
- 地域(と六郷キャンパス)の展望

六郷地区の社会資源へ!!

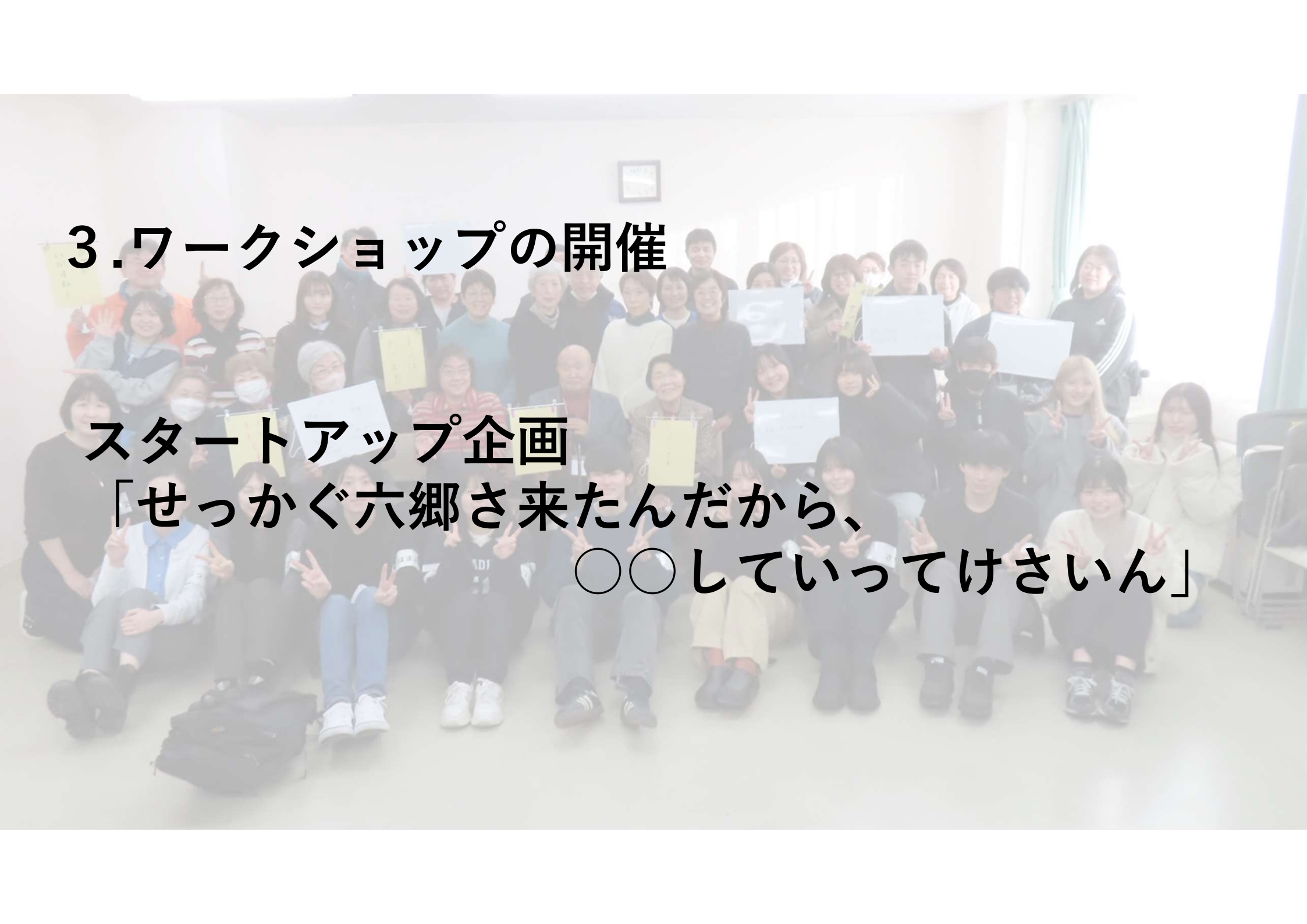
開設したばかりのためこれから 地域連携、地域の人に使ってもらえる場所

3.ワークショップの開催

スタートアップ企画

「せっかくぐ六郷さ来たんだから、

〇〇して行ってけさいん」



◎背景

- ・ヒアリング調査を通して**地域の方々が抱える課題は様々**
⇒その中でも…世代間交流をする場がない

◎目的

- ・地域の魅力を**可視化**し、**世代を超えた交流の場**をつくる
- ・ワークショップを通じて、参加者が**地域の魅力を再発見**

ワークショップの概要

◎日時・場所

2026年1月31日(土) 14:00~16:00

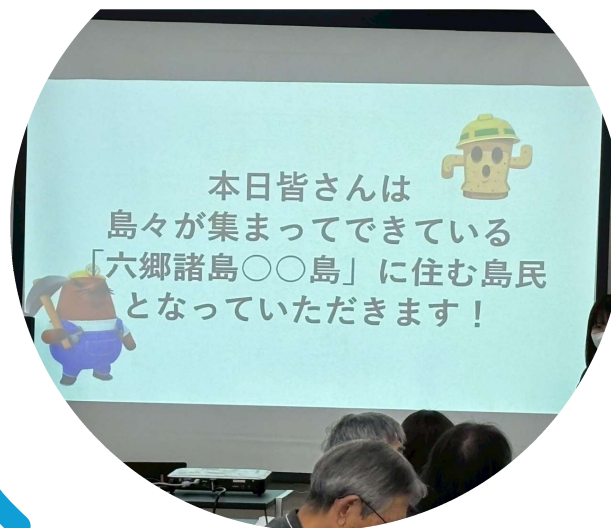
六郷市民センター

◎参加者

六郷地区に住んでる人、関わっている団体様 (計34名)

◎イベントコンセプト

「六郷諸島〇〇島」の島民となり、
六郷への想いを書いた紙を小瓶に入れて流す



ワークショップの内容

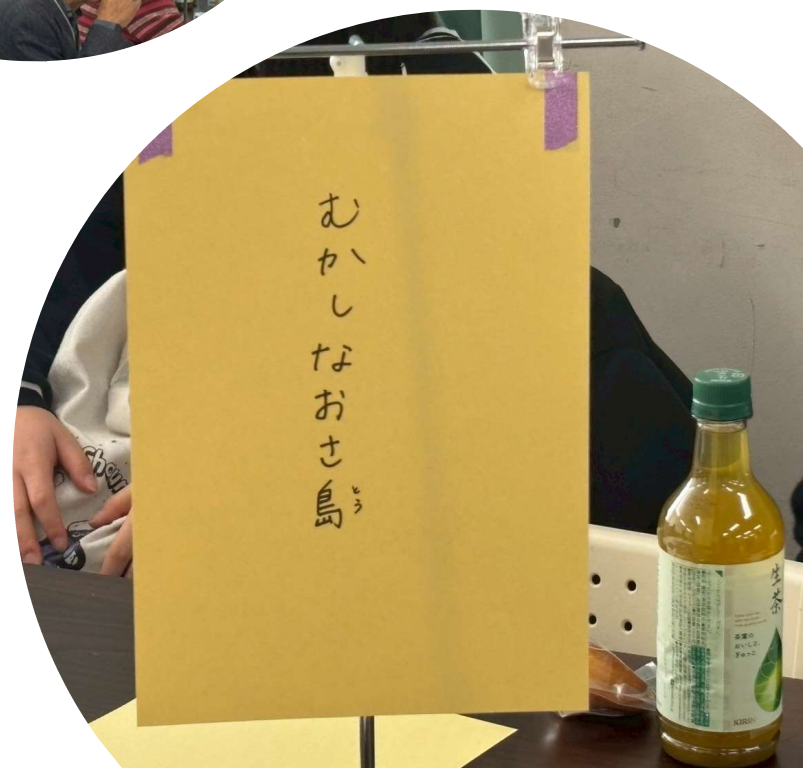
はじめに・・・

アイスブレイク

「自己紹介」 「言葉を探せゲーム」
「島の名前決め」

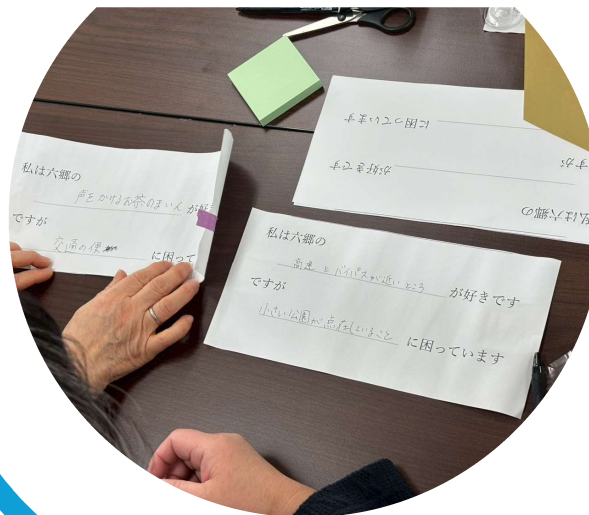
→親睦を深める

→話しやすい雰囲気づくり



個人ワーク

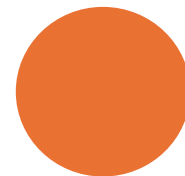
- ①「私は六郷の〇〇が好きです。でも〇〇に困っています」の用紙に想いを書く
- ②小瓶に入れる
- ③波に見立てたブルーシートに小瓶を流す
- ④ほかの島から流れ着いた小瓶を拾う
- ⑤拾った小瓶の内容についての**考察・感想**を付箋に記載



グループワーク

- ① 拾った小瓶の内容の共有、意見交換
- ② 「せっかく六郷さ来たんだから、〇〇
して行ってけさいん」の形式に合わせて
六郷地区の良いところについての話し合い

→全体発表



ワークショップの感想

◎参加者の声

- ・ 世代ごとに感じている**六郷への想いや課題を共有**することができた
- ・ これまで**知らなかった魅力を知る**ことができた



- ・ 世代や立場の異なる参加者同士の交流が、**相互理解を深めるとともに、新たな視点や気づきを得る機会**になった
- ・ 「デジタルデトックスして行ってけさいん」「田園風景と大きな月見でけさいん」など**逆転の発想**

ワークショップで見えてきたこと

①六郷の魅力は「**自然**」と「**人のあたたかさ**」

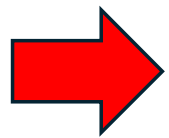
ゆったりとした時間を過ごせる

→**最大の価値として共有されていた**

②六郷地区には、**変わらないもの**と**変わりゆくもの**がある

自然、伝統、歴史↑

↑人々、風景



**今後もこのような六郷地区の魅力を
地域住民同士で共有し合える交流の場づくりが大切**

プロジェクト全体を通して

- 東部夏祭りや六郷市民祭りなど**住民同士の交流が盛ん**
⇒六郷地区に住むみなさんの**地元愛の強さ**を知った
- 様々な世代が**意見交流できるワークショップ**を開催できた
- 「市民センター懇談会」で住民の前でプロジェクトの成果を報告する機会を得た
- 「**六郷をより良くしたい思い**」が一致していた

今後の展望

- 活動の**見通し**を立て、**計画的**に進める
- イベント参加・ヒアリング調査で**地域との関わり**を広げる
- 活動内容を深めたワークショップを企画・開催



私たちのような「**動的な存在**」を介して「**新しい交流の拠点**」をつくりたい

六郷地区外に住む学生が、六郷地区の団体組織と六郷地区住民を繋げるような働きかけをする存在

A street scene at dusk. On the left, there are houses with dark roofs and light-colored walls. A sidewalk with a metal railing runs along the houses. In the center, a road with white markings and Japanese text markings (including '歩道' and '車道') leads towards the horizon. Utility poles with many power lines are visible on the right side of the road. The sky is dark with some clouds, and the overall lighting is dim, suggesting twilight.

ご清聴ありがとうございました